

一時保育 入所のしおり

社会福祉法人みのりの会

清明山保育園



〒464-0087

名古屋市千種区清明山1丁目1-3

TEL 052-725-7258

FAX 052-725-7278

社会福祉法人みのりの会のあゆみ

2017年4月作成

- 1964年2月 今池パプテスト教会を借りて共同保育所を開設。
「今池共同保育所」と名乗る 4月には23名の定員が満員になる
- 1966年5月 移転：移転先がうまく見つからず、城木町の関係者宅の2階と、若竹町の老朽
家屋を手直しして「今池北共同保育所」「今池南共同保育所」の2箇所に分かれる
ことを余儀なくされる 保育者の職業病（腰背痛症）発生
- 1969年4月 「今池北」に合併。運動の成果が実って、公立保育園がいくつか設立され、8月には
子どもが3～4人になり、運営危機となる。この年から名古屋市より補助金が出る
- 1970年 新たに職業病発生。移転問題が発生し、移転先探しに取り組む。
- 1972年11月 現在、田代保育園のある山添町の土地に移転。
- 1973年2月 卒園者を主な会員とする「田代共同保育所後援会」発足
1973年4月 革新市政の誕生により、助成金が大幅に増え、公立での乳児保育も前進。
- 1974年4月 保育者の多くが退職し、新規採用した人も秋頃より続々と3名が職業病になる
- 1976年12月 運動の結果、3名の職業病者が愛知の共同保育所では初めて労災認定を受ける
- 1978年 中断していた「後援会」を再度発足させ、機関紙「田代っ子」を年数回発刊
以後、定期的会議の継続と機関紙の発行を続ける
- 1979年 新たに1名職業病発生し労災申請。ベビーホテルが全国的に激増し、死亡事故多発
- 1980年 5人目の職業病認定を勝ち取る。「4月危機」厳しくなる。この前後数年は保育者の
出稼ぎアルバイトや無給休職で共保存続維持を保つ。
- 1987年9月 またも職業病者発生、労災申請
- 1988年9月 6人目の職業病認定を勝ち取る。認定された人はすべて復帰のため、取り組みを行い、
健康を取り戻す。
- 1990年 共保の存続をさぐり、夜9時までの延長保育及び一時保育の積極的位置づけを行う
- 1991年9月 地域に向け第1回「ちびっこまつり」を田代共保及び「後援会」主催で行う
以後毎年開催（二ツ池公園にて）
- 1992年 家庭で子育てしている親への子育て支援事業として「赤ちゃん広場」開設
- 1994年11月 30周年記念行事を行う（OBなど60人が参加）
- 1995年 大家さんより何回目かの立ち退き通告を受ける。土地買取運動を始める。
- 1996年10月 保護者OB、職員計21名で土地を買い取る。以後家賃が無料になる
- 2000年 NPOでの認可を検討（国の認可基準緩和をうけ）
- 2001年 名古屋市の「規制緩和による保育所設置認可基準」が発表されたことを機に
「社会福祉法人」での認可を方針化。認可運動を始める。
- 2004年4月 社会福祉法人みのりの会「田代保育園」認可・開園（23名定員）
5月 あらたに「田代本通共同保育所」開所（市の補助金は認可の為、打ち切り）
- 2005年6月 運営困難で田代本通共同保育所閉鎖、田代保育園にて子育て支援一時保育を開始
- 2007年4月 田代保育園の定員を30名に増やす
- 2012年12月 待機児解消のための賃貸型認可保育園として「清明山保育園」開園（40名定員）
- 2014年11月 50周年記念行事を行う（160人余参加）
- 2015年4月 保育制度の改定にともない、田代保育園定員36名、清明山保育園定員54名になる
- 2015年9月 名古屋市立北千種保育園の民間移管により受託が決定する。
- 2017年4月 名古屋市立北千種保育園から移管し「きたちくさ保育園」として開園（108名定員）
清明山保育園の定員を50名に変更する

一時保育 入所に関する規定

- 1 入所対象 産休明け～3歳未満児 (場合により就学前まで可)
- 2 保育時間 7:15～20:15 のうちの必要な時間
- 3 諸費用
 - ① 入所金なしの場合
 - 保育料 30分ごとに500円 (1時間1000円)
 - 食費 昼食300円、おやつ100円、夕食300円 (食べる場合)
 - ② 入所金2万円を支払う場合
 - 保育料 30分ごとに400円 (1時間800円)
 - 食費 昼食300円、おやつ100円、夕食300円 (食べる場合)
- 4 延長保育 18:15以後は延長保育となります
延長保育料 保育料以外に30分につき300円加算されます
19:00以後保育の場合、夕食があります (1食300円)

5 持ち物

【共通の持ち物】

ビニール袋	(レジ袋等) 2枚 ※汚れた衣類、紙おむつの持ち帰り用
布団	園で共用布団を使用しますので不要ですが、 掛け布団用のバスタオルや綿毛布を季節に合わせてご用意ください。
連絡帳	ノートを用意し、1日の時間帯を書き、家での様子・質問などを記入して下さい 保育園で時間帯が印刷されたノートもご用意しています。(1冊100円)

【年齢別持ち物】

3ヶ月未満児 (いちごクラス)	肌着1～2枚 ガーゼハンカチ3～4枚 帽子 冬は上着・靴下 オムツ おしりふき
4ヶ月～1歳 (いちごクラス)	半袖綿シャツ1～2枚 夏以外は綿の長袖Tシャツ 冬は上着・靴下 食事・おやつ用エプロン&手拭用ハンドタオル (それぞれご用意ください) オムツ おしりふき ズボン2枚 散歩用帽子 (あご紐用ゴムのついたもの)
1歳児 (ももクラス)	上記および靴 (自分ではきやすいもの)
2歳児 (りんごクラス)	上記およびパンツ・ズボン・Tシャツを1～2セット
3歳児 (ぶどうクラス)	パジャマ (前開きでボタンの練習ができるものをご用意ください)

- 【記名のお願い】 ※衣類や持ち物には必ず全部に名前を記入してください
※紙おむつのおしり部分に大きく記名してください。
※お洗濯で消えないよう、点検をお願いします。

※入所時に児童記録票、予防接種記録票、緊急連絡票を提出していただきます



《保育理念》

子どもが心身ともに健やかに育成される保育をすすめ、子育て中の父母を支援する

《保育目標》

1. たくましい心と体

☆ 健康・安全に留意し、保護者と保育者の連携を十分に行い、たくましい心と体づくりを進めます

☆ 自然や地域と親しみ、実体験を身につけるために、毎日のお散歩を取り組みます

2. 人に信頼をよせ、自分を大切にする

☆ 子どもの思い・願いを受けとめ、楽しい生活を送ることができるよう、保育者自身がよく学び、元気で生き生きと働き続けることを目指します

《保育方針》

- ・ひとりひとりの個性を尊重し、その十分な発達を援助する。
- ・子どもの思い、願いを受け止め、安心して楽しい生活を作っていく。
- ・自然や地域に親しみ、実体験を身に付ける。
- ・季節の食材を使い、発達に必要な栄養のバランスがとれた手作りの食事を用意する。

《一日の生活》

		7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	
0歳児	7・5か月まで		あそび		睡眠		離乳食 日光浴	体操・散歩	睡眠		あそび	睡眠					
	9・5か月から		あそび		睡眠		離乳食 日光浴	体操・散歩	睡眠		おやつ	あそび	睡眠 必要ならば			夕食	
1歳児以上			あそび		散歩	昼食		睡眠		おやつ		あそび			夕食		

※1歳児の前半は移行期で場合によって午前睡眠が入ったり、昼食の時間が早いこともあります。

